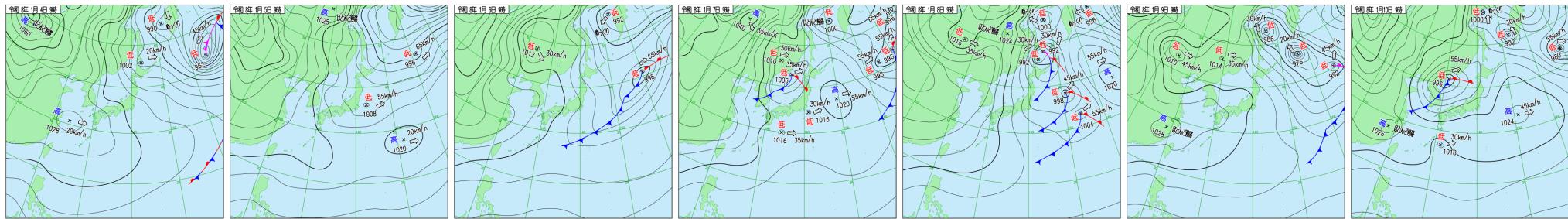


## ■天気図(1月4日~1月10日 ※毎日午前9時を掲載)



## 【今期間の天候について】

## ■気圧配置の特徴

4日、本州付近は強い冬型の気圧配置が続く。低気圧がオホーツク海を東進。5日、本州付近は引き続き冬型の気圧配置。午後3時頃、関東の東で低気圧が発生し、東寄りに進んだ。6日、西から張り出す高気圧の勢力が優勢となり、冬型の気圧配置は次第に緩んだ。夜遅く、日本海で新たな低気圧が発生し、7日にかけて急速に発達しながらサハリン付近へ進んだ。同日、房総半島付近、本州の南にも別の低気圧が発生し、それぞれ東進。8日、本州付近は西高東低の強い冬型の気圧配置となり、上空の強い寒気が本州付近へ南下した。9日、寒気は一旦北上し、本州付近は西から張り出す高気圧に覆われ、一時的に冬型の気圧配置は緩んだ。一方、華北付近を進む低気圧が東進し、次第に前線が明瞭化。10日、低気圧は急速に発達しながら日本海を進んだ。南西諸島付近では別の低気圧が発生し東進、夜は本州南岸に別の前線が停滞した。

## ■降水

4日、北日本日本海側から北陸にかけて広く雪。東北南部、関東北部で断続的に降り続き、群馬県みなかみ町では、24時間降雪量39cmを観測。5日、日本海側を中心に雪は続き、北日本沿岸部では吹雪となった所もある。北陸は、次第に雪から雨に降水が変化。6日、北日本は雪が続き、青森県酸ヶ湯では最深積雪深313cmを記録、今季全国で初めて3mを超えた。7日、房総半島付近の低気圧の影響で、関東では明け方から朝にかけて雪が降った。午後は低気圧や前線の影響で、雪や雨の範囲が広がった。8日、強い寒気の南下に伴い、北日本日本海側を中心には雪が強まった。札幌では12時間降雪量40cmとなり、昨冬までの1位の値を更新。北海道や新潟県で大雪警報発表。9日、冬型の気圧配置は次第に緩んだが、北日本日本海側は局地的な前線の影響で、夜は雪が降り出した。10日、低気圧や前線の影響で天気は下り坂。日中は雨の所が多くたが、夜は雪に変わり、局地的に降り方が強まった。

## ■気温

4日、北海道陸別では朝の最低気温-21.8℃を観測。日中も気温は上がりず、全国的に真冬の寒さとなつた。5日、北海道はほぼ全域で真冬日。東日本、西日本は気温上昇し、東京では3月並みとなる12.8℃を観測。静岡で白梅の開花。6日、寒気南下の影響で、全国的に前日よりも気温低下。強い地震のあった鳥取の最高気温は、前日より6.7℃低い4.7℃。7日、朝の冷え込みが厳しく、北海道陸別町では、今季全国最低気温(1月7日時点)となる-27.6℃を記録。雪や雨の降った東京の最高気温は6.4℃で、12月27日と並び、今季最低タイとなつた。8日、全国的に真冬の寒さが続いた。多くの地点で最高気温が10℃に届かず、大阪の最高気温は9.2℃。9日、日中の最高気温は多くの所で平年並みに推移。宮古島ではヒカンザクラの開花発表。10日、寒気の北上に伴って全国的に気温上昇。日本海側はフェーン現象により昇温、金沢の最高気温は14.4℃で4月上旬並みの暖かさとなつた。

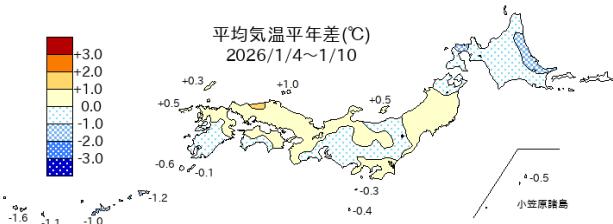
## ■今期間（1月4日～1月10日）の天候のまとめ

平均気温は、冬型の気圧配置が続いたが、低気圧の影響により暖かい空気が流入した時期もあったため、東北から九州ではほぼ平年並みで推移した。一方、北海道オホーツク海側、沖縄・奄美では上空の寒気の影響を比較的受けやすかったため、平年を下回る傾向となった。

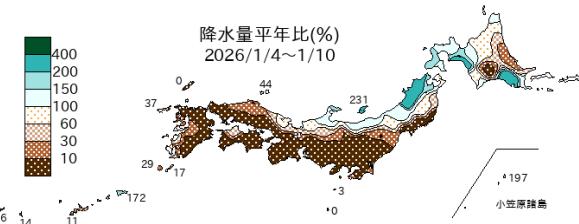
降水量は、強い寒気の南下に伴う降雪量の増加により、北日本日本海側から北陸を中心に平年を上回った。一方、東北太平洋側から、東日本・西日本太平洋側、沖縄・奄美は平年を大きく下回る降水量となり、仙台、東京、名古屋など、期間総降水量0mmを記録した地点も少なくなかった。

日照時間は、高気圧に覆われやすい傾向となった西日本を中心に、平年を上回る傾向となった。一方、上空の寒気や低気圧、前線の影響を受けやすかった北日本では、室蘭、秋田、仙台など平年を下回る所が多かった。

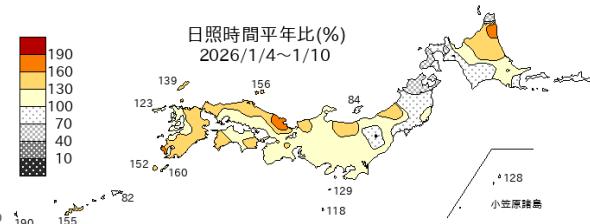
## ■平均気温（℃）と平年差（℃）



## ■期間総降水量（mm）と平年比（%）



## ■期間総日照時間（分）と平年比（%）



|             | 札幌          | 旭川          | 網走          | 室蘭          | 仙台         | 東京         | 新潟         | 名古屋        | 松江         | 高知         | 長崎         | 鹿児島        |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|             | -3.8 (-0.9) | -6.6 (-0.1) | -5.9 (-1.2) | -4.7 (-0.4) | 1.1 (+0.3) | 2.6 (+0.3) | 6.0 (+0.4) | 4.6 (-0.4) | 5.6 (+0.6) | 6.5 (-0.4) | 8.0 (+0.4) | 8.5 (-0.5) |
| 期間総降水量 (mm) | 38.5 (152)  | 3.5 (28)    | 12.5 (107)  | 0.0 (0)     | 0.0 (0)    | 51.5 (121) | 0.0 (0)    | 8.5 (26)   | 0.0 (0)    | 0.0 (0)    | 3.5 (26)   | 3.5 (23)   |
| 期間総日照時間 (分) | 10.0 (58)   | 23.0 (274)  | 82.5 (287)  | 0.0 (0)     | 1.0 (8)    | 1604 (83)  | 70.5 (117) | 1.5 (17)   | 0.0 (0)    | 0.0 (0)    | 0.0 (0)    | 2.5 (11)   |
| 平年差 (℃)     | -0.9        | -0.1        | -1.2        | -0.4        | +0.3       | +0.3       | +0.4       | -0.4       | +0.6       | -0.4       | -0.4       | -1.0       |

|             | 札幌         | 旭川          | 網走         | 室蘭         | 仙台          | 東京         | 新潟          | 名古屋         | 松江          | 高知          | 長崎          | 鹿児島         |
|-------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|             | 1114 ( 96) | 1570 ( 107) | 768 ( 74)  | 1604 ( 83) | 3032 ( 115) | 884 ( 122) | 2428 ( 102) | 1354 ( 142) | 3377 ( 129) | 1428 ( 101) | 2686 ( 150) | 1899 ( 155) |
| 期間総降水量 (mm) | 38.5 (152) | 3.5 (28)    | 12.5 (107) | 0.0 (0)    | 0.0 (0)     | 51.5 (121) | 0.0 (0)     | 8.5 (26)    | 0.0 (0)     | 0.0 (0)     | 3.5 (26)    | 3.5 (23)    |
| 期間総日照時間 (分) | 10.0 (58)  | 23.0 (274)  | 82.5 (287) | 0.0 (0)    | 1.0 (8)     | 1604 (83)  | 70.5 (117)  | 1.5 (17)    | 0.0 (0)     | 0.0 (0)     | 0.0 (0)     | 2.5 (11)    |
| 平年比 (%)     | 1114 ( 96) | 1570 ( 107) | 768 ( 74)  | 1604 ( 83) | 3032 ( 115) | 884 ( 122) | 2428 ( 102) | 1354 ( 142) | 3377 ( 129) | 1428 ( 101) | 2686 ( 150) | 1899 ( 155) |